



ひがしとよなか だより

学校目標 豊かな心を持ち、よく考え、自分の力で生きぬく子ども

令和7年(2025年)度3月号

豊中市立 東豊中小学校

校長 河上洋介

学校教育自己診断の結果分析について

本校では、毎年保護者を対象としたアンケートを実施し、その結果を学校教育の改善に役立てています。今年度は、1月9日(金)から16日(金)までの期間、formsのアンケート機能を使って実施し、218件の回答をいただきました。お忙しいところ、アンケートにご協力いただきありがとうございます。アンケート結果のグラフを裏面に印刷しておりますので、ご覧ください。

今年度も、ほとんどの項目で、「そう思う」「どちらかというと思う」を合計した肯定的な回答が80%程度となっており、一定の評価をいただいているものと考えています。特に、「子どもは楽しく学校に通っている」の項目では、肯定的な回答が90%を超えています。今後も、子どもたちが楽しく通える学校づくりを進めていきたいと考えています。逆に、80%に届いていない項目については、課題と捉えています。具体的には、「学校はいじめや仲間はずれのない集団づくりに取り組んでいる」「学校は命や人権を大切にする心を育てようとしている」「学校はタブレット等を使ったICT教育を進めようとしている」「学校は基礎学力の定着と学力向上の取組みを進めようとしている」の4項目を課題と捉えています。特に、集団づくりに関する項目で、肯定的な回答が少なくなっています。集団づくりに関する項目では、「わからない」との回答が非常に多く20%を超えています。

いじめや仲間はずれのない集団づくりについては、講師の先生に来ていただいている児童対象の学習会や、道徳の授業等を通して取り組んでいるところです。学習会等で学んだことを日々の学校生活の中で生かしながら、粘り強く指導を積み重ねていくことが大切だと考えています。自由記述欄にも「いじめは決して許されない法律違反(犯罪)で

あるという認識や、命の重みについて、学校教育の中でもっと踏み込んで指導してほしいです。」とのご意見をいただいていた。これまでの取組みを継続しつつ、より充実させていきたいと考えています。

自由記述欄に、学校行事の写真撮影、販売を業者に依頼することについてのご提案がありました。業者に確認したところ、学年ごとの校外学習等の行事については難しいとのことでしたが、運動会と学習発表会については6年生以外の学年の写真も撮影、販売できるとのことでした。実施できるよう検討していきたいと考えています。

アンケートの結果と自由記述欄に書いていただいたご意見を全教職員で共有し、今後の教育活動に生かしてまいります。引き続き、ご協力くださいますようお願いいたします。

第3回学校運営協議会の報告について

2月18日(水)の18:30~19:30に多目的室にて今年度最後となる第3回運営協議会を開催しました。事務局として校長、委員8名の出席がありました。まず、1月に実施した学校教育自己診断の結果について事務局から報告をしました。委員からは、学校行事の充実を求める意見や、思い出に残せるものとして学校行事の写真が欲しいといった意見があったことについて、ご自身が小学校(国民学校)に通っていたころの思い出に触れつつ、母校の小学校は、子どもの思い出に残るような、心のふるさとと言えるような小学校になってほしいとの意見をいただきました。次に、地域、保護者、学校の協働による取組みにかかる熟議を行いました。第2回の熟議でも話し合った、地域、保護者ボランティアによる授業支援の取組みについて、ボランティアの名称を「ひがとよ応援団」としてボランティア登録を呼びかけていくことが提案されました。後日、保護者の皆様にも「ひがとよ応援団」募集のおたよりを配付いたします。たくさんの方にご登録いただきたいと思います。